



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 3月号 (No. 23)

令和4年3月22日発行



令和3年度の“ひすいっ子”



今週は、明日（23日）が卒業式、あさって（24日）が終業式、しあさって（25日）が離任式と年度末の行事が続きます。通常の学習活動は、今日で終了ということになるのでしょうか。3月に入り、時間の経過がとても早く感じてしまいます。年度末は1年のまとめと4月からの準備等が同時進行となるため、仕方が無いのかもしれませんが。

さて、今年度の教育活動を振り返ってみようと思います。新型コロナウイルス感染予防を考慮した教育活動が前年度と同様に続きました。学校は集団生活が基本ですから、人と接しないわけにはいきません。常に“3密”を回避するため、換気、間隔、少人数での活動を心掛け、子どもたちの安心・安全を一番に考えて進めてきました。

4月、初々しい小学部1年生2名、中学部1年生5名が入学しました。緊張感の中にも、喜びが溢れていたことを思い出します。また、遠足で小学部はフォッサマグナ・ミュージアムへ、中学部は神道山へ行きました。春風に吹かれながら、ふるさと糸魚川の良さを体感することができました。

6月、運動会がありました。今年はオリンピック・パラリンピック・イヤーということもあり、聖火台がステージ上に設置され、子どもたち全員が参加して聖火リレーを行いました。自分と社会のつながりを考える良い機会となりました。妙高宿泊体験学習もありました。小学部5・6年生と中学部生全員で国立妙高青少年自然の家で楽しい自然体験を満喫してきました。友達と協力して活動する、自分の身に付けている生活力を発揮する1泊2日の活動でした。

7月、感染症のことが心配でしたが、無事に水泳学習・水遊びを実施することができました。暑さもあり、プールに入った子どもたちは水の感触を楽しみながら、友達と水を掛け合ったり、フロートの上に乗ったりして水に親しむことができました。



入学式



遠足



水泳学習



妙高宿泊体験学習



運動会



文化祭



交流及び共同学習



人権学習



ハロウィン・パーティー



クリスマス会



豆まき会

10月には文化祭がありました。子どもたちの図工美術作品、音楽・ダンス発表では、一人一人の子どもたちの感性が表れて、見ている者にも楽しさや喜びがしっかりと伝わってきました。小学部ではハロウィン・パーティーで自作の衣装を身にまとい、ユーモア溢れるパフォーマンスが見られました。

11月は、実りの秋にふさわしく、小学部と糸魚川小学校4学年合同で図画工作の学習をしました。グループに分かれ、海をテーマにした共同作品を制作しました。イメージを膨らませ、関わり合い、助け合いながら素敵な作品づくりができました。人権学習では、糸魚川人権擁護委員協議会の皆さんを講師に迎え、相手の気持ちを考えて尊重することの大切さを学びました。

12月、毎年この時期に訪問して下さる糸魚川ライオンズクラブのサンタクロースの皆さんと一緒にクリスマス・ソングやダンスを楽しみました。子どもたちの笑顔がはじけた一時でした。教育活動への地域の皆さんの貴重なご支援に感謝しています。

2月、「おにはそと ふくはうち！」悪い鬼をやっつけると同時に、自分の中にある“鬼”も追い出します。楽しみながらも、自分を見つめ、成長するための大切な機会でした。

ひすいの里総合学校が目指す“ひすいっ子”は、教育目標「ひとみかがやく子・すてきなえがおの子・いつもげんきな子」です。子どもたちは1年間の学びの中で、できることが増え、心も体も大きく成長しました。保護者の皆さんにはこの1年間、たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。